

◆ 和歌山情報館 ◆ Part 1 『知の巨人・南方熊楠』

梅雨に入りジメジメした毎日ですが、皆様お元気にお過ごしでしょうか。今回は和歌山が生んだ「知の巨人」、**南方熊楠（みなかたくまぐす）**をご紹介します。熊楠は1867年、和歌山市の金物商の家に6人兄弟の次男として生まれます。生物学、博物学、天文学等の世界的な研究者として知られていますが、言動、性格が奇抜であったことから、様々な逸話を残しています。



南方熊楠

密度の濃い熊楠の人生ですので、一部エピソードを抜粋してご紹介します。

- ◆幼少の頃 植物採集に夢中になるあまり数日間山中を駆け回わり、地元の人たちから「**てんぎゃん(天狗)**」と呼ばれる。
- ◆12歳の頃 知人から百科事典『和漢三才図会』（全105冊）を借りて読み、暗記したものを家に帰ってから筆写。5年がかりで完成させる。
- ◆17歳の頃 東京大学予備門（現東大）に入学。しかし、**勉学そっちのけ**で博物館や植物園に通いつめ、ついには**落第、自主退学**する。
- ◆20歳の頃 最先端の学問を学ぶことを熱望し**単身渡米**。ミシガン州の州立農学校を受験し合格するが、学友とウイスキーを飲み泥酔しているところを校長に発見され**放校処分**となる。
- ◆24歳の頃 採集旅行中、資金が尽きたため、キューバの首都ハバナでサーカス団に加わり、**象使いの補助**をしながら3カ月余り中南米を巡業する。
- ◆25歳の頃 英国に渡る。生物学の分野ではなく、天文学の論文「極東の星座」が1位入選。研究者憧れの科学雑誌『ネイチャー』に掲載。その後、51回もの論文が掲載される。
- ◆30歳の頃 大英博物館の館内で東洋人に対する差別発言をした英国人を殴りつけ、1ヶ月入館禁止になる。その後も度々問題をおこし、大英博物館の立ち入りを禁じられる。
- ◆42歳の頃 明治政府の『神社合祀令』による森林破壊に抗議し、**反対運動**を起こす。抗議の際に「エコロジー」という言葉を用いたので、**日本で最初のエコロジスト**とされている。
- ◆62歳の頃 田辺湾の神島で昭和天皇に御前講義を行なった際、粘菌標本を**キャラメルの空箱**に入れて献上したため、側近たちを凍りつかせた。



愛用の標本採集セット



熊楠ほど「**天衣無縫**」「**破天荒**」という言葉がしっくりくる人物はいないのではないのでしょうか。「肩書きがなくては己れが何なのかもわからんような阿呆共の仲間になることはない」という熊楠の言葉通り、終生学歴や学位はなく**民間の研究者**であり続けました。

熊楠の生き様は、ややもすれば言い訳しがちな現代人に、純粋に物事を追求することの大切さを教えてくれているような気がします。一部しかご紹介できないのが悔やまれますが、興味を持たれた方は、ネットや書物で調べてみるのも面白いと思います。

◆ イチオシ商品 第5弾 ◆ K-100 プラスチック手袋 エコノミー パウダーフリー 100枚入



この度、**コムテックオリジナルブランド**となる商品「**プラスチック手袋 K-100**」の販売を開始致しました！パウダーフリーの極薄タイプで伸縮性もあり、手や指先にフィットするので快適に作業できます。サイズはS・M・Lの3段階。サンプル・お取り扱いについてはコムテックまでお問い合わせください。（TEL：073-444-4139 F A X：073-445-4639）



◆はあとこむ通信の過去の記事（バックナンバー）はコムテックHPでご覧頂けます◆